

1 第1部（特集・トピックス）

(1) 特集

「緊急事態への備えと対応」

大規模災害における警察活動や災害対処能力向上のための警察の取組のほか、テロ対策の現状や課題について紹介するとともに、緊急事態への対応に関する今後の展望について記述するもの。

(2) トピックス

- I 登下校時における子供の安全を守るための警察の取組
- II 特殊詐欺の現状と高齢者被害防止のための新たな取組
- III 国際犯罪組織による不正資金獲得及びマネー・ローンダリングの実態と警察の取組
- IV 自動運転の実現に向けた警察の取組
- V 警察捜査を支える情報技術解析
- VI 平成の回顧と展望

2 第2部（本編）

- 第1章 警察の組織と公安委員会制度
- 第2章 生活安全の確保と犯罪捜査活動
- 第3章 サイバー空間の安全の確保
- 第4章 組織犯罪対策
- 第5章 安全かつ快適な交通の確保
- 第6章 公安の維持
- 第7章 警察活動の支え

3 その他

- 図表や写真を多く用いるなどして、見やすく分かりやすいものとなるよう努めた。
- 「警察活動の最前線」として、現場での労苦や仕事のやりがい等についての率直な思いをつづった警察職員の手記を掲載した。

4 今後の予定

7月30日（火） 閣議配布（閣議配布後市販開始）

公安委員会 説明資料No. 2	犯罪対策閣僚会議 (第31回)について	令和元年6月20日 生活安全 刑事局
--------------------	------------------------	--------------------------

1 開催日時等

- 令和元年6月25日（火）
- 構成員：内閣総理大臣及びその他の全大臣

2 会議の内容

「オレオレ詐欺等対策プラン」（仮称）の決定及び川崎市における児童等殺傷事件を受けた政府の取組の報告を予定

(1) オレオレ詐欺等対策プラン（仮称）

ア 趣旨

特殊詐欺被害が依然として深刻な情勢にある中、昨今、高齢者から資産状況を聞き出した上で犯行に及ぶ手口の強盗事件も相次いでいる。今後ますます社会の高齢化が進む中、官民を挙げた取組の強化により被害防止の徹底を図るもの。

イ オレオレ詐欺等対策プラン（仮称）の概要

○ 被害防止対策の推進

- ・ 広報啓発活動の更なる推進

幅広い世代に対して高い発信力を有する著名な方々*と連携し、あらゆる分野の団体、事業者等の協力を得ながら、国民が力を合わせて特殊詐欺の被害防止に取り組むよう広報啓発活動を展開

※ 「ストップ・オレオレ詐欺47～家族の絆作戦～」プロジェクトチーム（SOS47）等

○ 犯行ツール対策の推進

- ・ 電話転送サービスを介した固定電話番号の悪用への対策

○ 効果的な取締り等の推進

- ・ 犯罪者グループ等に対する多角的・戦略的取締りの推進

(2) 川崎市における児童等殺傷事件を受けた政府の取組

5月29日に開催された「登下校時における子供の安全確保に関する関係閣僚会議」において、

- ・ 徹底した捜査による全容解明と関係省庁との情報の共有
- ・ 通学路の安全確保の徹底
- ・ 不審者情報の共有と迅速な対応の徹底

が指示されたことを受け、その取組状況を報告。

1 行方不明者の受理状況

- 行方不明者の届出受理数は、過去10年間では、ほぼ横ばいで推移し、30年は87,962人で前年に比べ3,112人増加。

認知症に係る行方不明者の届出受理数は、統計をとり始めた24年以降、年々増加し、30年は16,927人で前年に比べ1,064人増加。

- 男女別では、男性が56,379人、女性が31,583人と、男性の割合が高く、男性、女性共に過去10年間では、ほぼ横ばい。

- 年齢層別では、20歳代が最も多く、過去5年間では増加傾向。70歳以上も増加傾向。

- 原因・動機別（「不詳」を除く。）では、疾病関係が最も多く、24年以降年々増加しており、認知症に係るものの増加が要因。

年齢層別では、60歳以上で、疾病の中でも認知症の割合が増加。

2 行方不明者の所在確認等の状況

- 30年中に所在が確認等された行方不明者は84,753人であり、その内訳は所在確認が72,949人、死亡確認が3,833人、その他が7,971人。

- 受理当日に全体の47.0%が所在確認され、受理から1週間以内には79.8%が所在確認されている。

3 今後の取組

- 行方不明となった原因・動機や当時の状況等を詳細に確認し、事案に応じた組織的な発見・保護活動を推進。

- 認知症による行方不明者の早期発見に向けて、高齢者の見守り・SOSネットワーク間での連携強化、情報発信活動等を推進。

公安委員会 説明資料No. 4	吹田市における拳銃奪取事件について	令和元年6月20日 刑事局
--------------------	-------------------	------------------

令和元年6月16日、吹田市内の交番において、交番勤務員が刃物で襲われ、拳銃を奪取される事件が発生した。

1 被疑者

住居不定

職業不詳

33歳

※ 令和元年6月17日午前6時34分 通常逮捕

2 被害者

警察官（巡査） 男性 26歳

※ 左前胸部刺創、右背部刺創等により重体

3 捜査の経過

- 駅員からの110番通報により認知。
- 被害者は、空き巣事案に臨場しようとしていたところ、被疑者から刃物で襲われ、拳銃を奪取された模様。
- 関係者からの聴取、防犯カメラ捜査等から被疑者を特定。
- 箕面市内の山中において、被疑者を発見し、通常逮捕。
- 奪取された拳銃は、逮捕現場において押収（実弾1発が発射されており、4発が残弾）。

公安委員会	交通安全対策に関する関係閣僚会議の開催	令和元年6月20日
説明資料No. 5	及び交通安全緊急対策の決定について	交通 局

1 前回開催日（5月21日）以降の経過

前回開催日と同日に設置された、関係省庁の局長級を構成員（※）とするワーキングチームによる検討の結果、6月17日に、「未就学児等及び高齢運転者の交通安全緊急対策（案）」（以下「緊急対策案」という。）が取りまとめられた。これを受け、6月18日に関係閣僚会議が開催され、緊急対策が決定された。

※ 内閣官房内閣審議官、内閣府政策統括官（共生社会政策担当）兼子ども・子育て本部統括官、警察庁交通局長、総務省大臣官房地域力創造審議官、文部科学省総合教育政策局長、厚生労働省老健局長及び子ども家庭局長、経済産業省製造産業局長並びに国土交通省総合政策局長及び道路局長

2 緊急対策の主な内容（当庁関係）

(1) 未就学児を中心に子供が日常的に集団で移動する経路の安全確保

- 未就学の子供を交通事故から守るための関係機関等の連携・協力による緊急安全点検の実施及びこれを踏まえた対策の実施（9月末までに点検実施、10月中に結果集約、本年度内に対策着手）
- 子供の通行が多い生活道路等における適切な交通指導取締り

(2) 高齢者の安全運転を支える対策の更なる推進

- 安全運転サポート車の普及推進及び限定免許制度の検討等
- 運転適性相談の更なる充実強化、自主返納制度及び自主返納者に対する各種支援施策の周知等運転に不安を覚える高齢者等の支援